

平成26年12月14日実施

あさひ、だいすき♪『旭区検定』

問題用紙 (上級)

(制限時間90分)



【自然文化】に関する問題について、最も適当と思うものをそれぞれ①～④の中から選んでください。

- 1 昭和〇〇年10月に旭区の花に、「ハナショウブ」が選ばれています。アヤメ科アヤメ属の一種で、日本に自生するノハナショウブから改良されたものです。名前の由来は、葉がショウブの葉に似ており美しい花をつけることからです。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。



- ① 33
② 43
③ 53
④ 63

- 2 城北菖蒲園の広さは何ヘクタールでしょうか。

- ① 0.3 ② 0.8 ③ 1.3 ④ 1.8

- 3 明治18年(1885)の淀川大洪水を契機に明治30年(1897)から淀川改良工事が始まり、新淀川が開削されました。完成した年は次のうちどれでしょうか。

- ① 明治35年 ② 明治37年 ③ 明治43年 ④ 大正14年

- 4 明治の淀川改良工事が完成するまでは、淀川左岸堤防は、現在の〇〇のあたりにありました。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 大阪工業大学 ② 大宮小学校 ③ 千林大宮駅 ④ 旭区役所

- 5 水制工(川岸から水路に垂直に構築物を設置したもの)は何のために作られましたか。

- ① 魚を釣るため ② 航路を確保するため
③ 堤防を保護するため ④ ワンドを作るため

- 6 国の天然記念物イタセンパラが卵を産む貝は何でしょうか。

- ① サザエ ② タニシ ③ イシガイ ④ カワニナ

- 7 国の天然記念物、「イタセンパラ」を漢字で書くと次のうちどれになるでしょうか。

- ① 板千腹 ② 板千原 ③ 板鮮腹 ④ 板鮮原

- 8 城北川は全長5.6kmですが、旭区内を流れる距離は何kmでしょうか。



- ① 4.8km
② 2.2km
③ 3.7km
④ 1.9km

- 9 旭区が農村地帯であった当時、周辺の用水路は個別に淀川から取水を行っていましたが、昭和9年(1934)に、堤防の安全性、補修費を考慮し、統一して一か所から取水するために、〇字伊加賀地先に新合同樋門が建設されました。これに伴って「江野川(樋管統一水路)」も誕生しました。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 守口市 ② 寝屋川市 ③ 枚方市 ④ 大阪市

- 10 「江野川(樋管統一水路)」にかかっていた橋で、現在の大阪工業大学正門前にあった橋は次のうちどれでしょうか。

- ① 大宮1号橋 ② 大和橋 ③ 城北小橋 ④ 太子橋

- 11 今市1丁目にある寶龍寺には、ご神木でもある府指定の天然記念物の大きな楠があります。樹齢およそ何年でしょうか。

- ① 200年 ② 400年 ③ 600年 ④ 800年

- 12 現在の生江と中宮のあたりにあった「中村」では、湿地を利用して「〇〇」が収穫され、薬種問屋に出荷されて、健胃・強壮・止血などの妙薬の薬種として重宝されていました。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 菱 ② 杜若 ③ 蓮 ④ 河骨